

地域とともにある学校を目指して 未来を担う生野っ子の育成

下関市立生野小学校

学校運営協議会について

- ① 実施回数
 - ・生野小学校学校運営協議会
 - ・校区合同学校運営協議会（にじいろネット協議会）
- ② 主な協議内容
 - ・本年度の組織及び部会の決定、活動内容や運営方針の共有と確認
 - ・領域部会ごとの活動の進捗説明、各学校における行事等の紹介
 - ・学校運営方針の説明と承認、学校評価についての審議
- ③ コーディネーターの活動
 - ・学校と密に連絡を取り合い、学校と地域社会をつなぐ活動を支援しています。

それぞれ学期に1回開催

特色ある活動

◆ コミュニティ・ルームの設置

地域の方が集う憩いと交流の場として、校内にコミュニティ・ルームを設置しています。活動内容の打ち合わせや準備等も、この場所を中心に行っています。

◆ 学校応援団による学校支援活動

今年度も、多くの方に学校の教育活動や教育環境整備を支援いただきました。

- 学習支援として…読み聞かせ、調理実習やミシン、習字等の指導補助
- 環境支援として…花生け、芋畑の整備、窓やトイレ等の清掃
- 安全支援として…下校見守り、参観日や懇談会中の託児 など



◆ 地域につながる情報発信

- ・生野小学校ホームページにてコミュニティ・スクールや学校行事の様子等について最新の情報を公開しています。
- ・にじいろネット応援団だよりを発行し、家庭や校区内の自治会にも配付しています。
- ・地域の方々が活動を紹介するポスターを作成し、校内の玄関等に掲示しています。

◆ 小中連携の取組

山の田中学校区3校合同の学校運営協議会「にじいろネット」による取組（熟議、講演会、算数大作戦など）を推進しています。

来年度に向けて

活動内容が定着し、今では地域の方々が主体となって活動されています。今後は、地域の方々が活躍する場と子供たちが地域の人と関わり合う場をさらに増やし、学校・家庭・地域が互いに手を取り合って、未来を担う生野っ子を育てていきます。



「にじいろネット」と連携して子どもを育む

下関市立山の田小学校

学校運営協議会について

①組織の構成員

- ・武久自治連合会顧問、大学町自治連合会長、青少年健全育成協議会会長、山の田小地域コーディネーター、北部公民館長、民生児童委員協議会主任児童委員、市教委ガイダンスアドバイザー、山の田小PTA会長

②実施回数

- ・年間3回、学期ごとに実施。
- ・第1回：6月14日、第2回：10月23日、第3回、2月21日（予定）

③主な協議内容

- ・令和元年度学校運営基本方針（グランドデザイン）について
- ・学校評価書、綱紀保持研修について
- ・全国学力・学習状況調査の自校分析結果の報告
- ・学校評価アンケートの結果とその分析、成果と課題について
- ・緊急児童引き渡し訓練の実施について
- ・子どもたちの教育環境（地域・通学・家庭・学校・学習）について

④コーディネーターの活動

- ・学校支援ボランティアの連絡調整（水泳指導ボランティア、読み聞かせボランティア、ミシン先生、交通安全立哨、ふれあい活動等）
- ・多岐多様にわたる学校支援に対し、地域人材が適材適所で活動できるようにコーディネートしています。

特色ある活動

◆にじいろネットとの連携

○8月29、30日に下関市立大学において、生野小・山の田小の5年生が算数の基本問題を学習する「にじいろ算数大作戦」を実施しました。市立大学生が中心となって企画・運営し、各校研修部が連携しての開催でした。子どもたちからは、「わかった」「楽しい」「できてうれしい」という声が多く聞かれました。



にじいろ算数大作戦の様子

◆教員の小中連携プロジェクト

○にじいろネットの熟議の結果を基に企画された小中連携の取組です。中学校のサマースクールに、小学校教員が参加しました。数学や国語の学習支援を行い、生徒の学習意欲の向上に貢献できました。

来年度に向けて

学校運営協議会にプチ熟議を入れるなどして、学校運営や学校課題の解決に向けた議論を活性化させるとともに、にじいろネットとの連携をさらに深め、学校と地域が一体となって地域を愛する子どもたちの育成に向け、CSの活動を推進していきます。

地域で子供を育てるネットワークづくり

下関市立山の田中学校

学校運営協議会について

① 委員の構成

12名(自治会長、PTA役員、地域の方々、教職員)

② 実施回数(年間5回)

③ 主な協議内容

- ・学校運営方針と学校課題の協議
学校行事の紹介、協力の依頼(6月)
- ・小中合同熟議(6月)
- ・学校と地域の協働活動(8月)
- ・学校自己評価に関する中間評価(9月)
- ・学校自己評価に関する最終評価
来年度の学校運営方針の承認(3月)

④ コーディネーターの活動

- ・学校担当者と適宜、来校しての打ち合わせやメールでの連絡を行っている。
- ・学校応援団を組織し、学校のニーズに合わせ、ボランティアスタッフの募集を行っている。
- ・月曜日学習支援事業や余裕教室(コミュニティ・ルーム)活用事業、読み聞かせ事業を積極的に推進している。



熟議の様子:中学生(生徒会役員)が参加し、地域の方たちと「私たちにできること」を具体的に話し合い、多いに盛り上がった。

特色ある活動

◆小中学校の校内組織と学校運営協議会の連動について

小中学校内の学校組織と学校運営協議会の部会を「こどもの学び部会」「心の教育部会」の2部会に分け、9年間を意識した取り組みについて協議する。

○「心の教育部会」の取組

- ・にじいろネット行事カレンダーの作成・配布
- ・心を育てる教育講演会
- ・にじいろネット啓発促進キャラクターグッズ作成

○「こどもの学び部会」の取組

- ・「家庭学習の手引き」の配布・活用
- ・「家庭学習がんバッタ週間」の実施
- ・山の田中学校区小中合同授業研究会
- ・夏季休業中の「学習会(算数大作戦)」
～下関市立大学との連携～

◆月曜日学習支援「ゲツスタ山の田」毎週月曜日

◆余裕教室の活用「ぷらっと山の田」毎月第1火曜日

地域の方の趣味の教室を開催している。

◆読み聞かせ「にじいろ絵本」毎月第3木曜日

来年度に向けて

- ・来年度に向け、3月に学校運営方針を運営協議会で承認してもらう。
- ・学校応援団の充実に向けて、2月に再度保護者・地域に募集を呼びかける。
- ・アンケートを実施し、応援団の積極的な活用がはかれるようニーズを掘り起こす。

